

情報公開内容

課題名：血流 CT (perfusion CT)：腹部臓器における有用性の検討

本研究の目的

血流 CT (Perfusion CT) は造影 CT 検査の一種で、臓器の血流を測定することが可能で、すでに頭部領域では急性期脳梗塞の診断における有用性が確立されています。腹部においても臓器や病変部の血流を測定することは臓器の機能や病変の性格を評価するために重要と考えられます。しかしながら、従来の CT 装置では撮影できる範囲が狭かったため腹部臓器の血流 CT は十分な検査を行うことができませんでした。このたび広島大学病院に一度に広い範囲を撮影することができる CT 装置が導入され、この装置では肝臓や膵臓などの臓器全体の血流 CT を行うことができるようになりました。本研究の目的は、腹部においては、どのような疾患や臓器において特に血流 CT が有用であるかを検討することです。

本研究の対象

本研究承認後～平成 27 年 3 月の間、本院において臨床検査として腹部の血流 CT が撮影される患者さん。

本研究の意義

本研究により腹部のどのような疾患や臓器において血流 CT が特に有効かを明らかにすることが期待されます。腹部臓器における血流 CT の有用性が明らかになれば、腹部臓器の機能や腫瘍の性格を血流 CT を用いて正確に診断することが可能になるため、本研究は臨床的に非常に重要性が高いと考えられます。

本研究での評価項目

本研究では血流 CT における血流定量値と病変の転機、患者さんの予後などを対比させるためカルテを調べて調査することが主な調査方法です。調査項目は、患者の性別、年齢、採血結果、既往歴、臨床診断、画像解析結果、画像診断所見、手術所見、病理診断所見です。

本研究への参加と個人情報保護

この研究へ情報を提供したくない場合は下記までご連絡下さい。

本研究への情報提供を拒否されてもなんら不利益は生じません。

この研究に参加することで特別な謝礼金などの資金援助はありません。

学会論文発表は完全に匿名化してなされます（名前、ID、イニシャル、生年月日等の個人を特定できる情報は記載されません）。

症例の個人情報は匿名化されますので、個人情報が漏洩することはありません。

研究責任者 および 問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

【研究責任者】

所属：広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 放射線診断学

職名：教授 氏名：栗井和夫

【問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先】

担当者所属：広島大学病院 放射線診断科

職名：医科診療医

氏名： 中村優子（研究担当者）

連絡先電話番号：082-257-5257